

7 足立区特別養護老人ホーム整備方針

足立区特別養護老人ホーム整備方針 (令和2年度～11年度)

令和2年9月



福祉部 高齢者施策推進室
高齢福祉課
地域包括ケア推進課
介護保険課

目次

第1章 基本方針	
1 策定にあたって	1 ページ
2 整備方針の位置づけ	2 ページ
第2章 高齢者の状況	
1 足立区人口推計	3 ページ
2 高齢者の人口推計	3～4 ページ
3 高齢者人口の増加に伴う課題	4～5 ページ
第3章 特別養護老人ホームの現状と課題	
1 施設の整備状況	6 ページ
2 入所希望者の状況	6～10 ページ
3 入所待機者にかかわる課題	10～12 ページ
第4章 施設整備計画	
1 施設整備の区の方考え方	13 ページ
2 今後10年間の整備目標	13 ページ
3 今後の施設整備における課題・留意点	13～14 ページ
4 令和11年度までの整備スケジュール	16～17 ページ
資料	
優先入所評価基準	18～20 ページ
高齢者等実態調査の概要	21 ページ

第1章 基本方針

1 策定にあたって

足立区では、特に75歳以上の後期高齢者の人口増加が顕著であり（表1「高齢者人口の推移」参照）、これによって高齢化率は24.8%と23区のトップに押し上げられています。令和2年2月の足立区人口推計によれば、高齢者人口は令和42年（2060年）にピークをむかえ、中位推計でも251,398人となり、令和2年（2020年）と比較して約7万8千人、46%増加することになります（3ページの図4「高齢者の人口推計」参照）。

表1 高齢者人口の推移（各年10月1日現在）



当区では前述の人口推計を念頭に、高齢者施策を計画的に推進するため、「地域包括ケアシステムビジョン」「高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定し、高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、地域住民、介護事業者、医療機関、区等が連携し、高齢者を地域で支える仕組みづくりに取り組んでいます。

その結果、地域密着型サービスを含む介護保険サービス、生活支援、地域の見守り活動など多様な支援策が充実する一方で、特別養護老人ホームの入所待機者数は平成29年度以降年々増加し（16ページ「申込人数の推移」参照）、令和2年6月時点で、約2,500名となっています。

そこで、入所待機者の解消はもとより、災害時における福祉避難所としての機能が期待される特別養護老人ホームを、中長期的（令和2年度から11年度までの10年間）な視点に立って計画的に建設するため、本指針（以下、「整備方針」という。）を策定します。

第1章 基本方針

2 整備方針の位置づけ

- (1) 本整備方針に基づき「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、特別養護老人ホームの整備を進めます。
- (2) 本方針の計画期間は令和2年度から11年度までの10年間とし、施設整備状況、施設改修計画、入所状況等を勘案し、必要に応じて見直します。

図1 特別養護老人ホーム整備方針の位置づけ

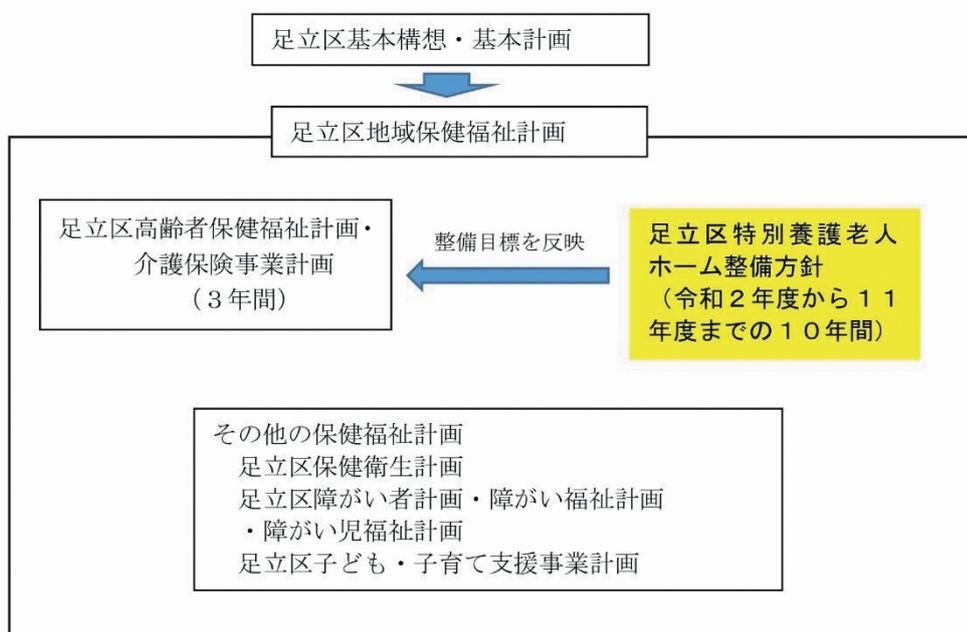


図2 計画期間

R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
第7期									
	第8期介護保険事業計画								
				第9期介護保険事業計画					
							第10期介護保険事業計画		

第2章 高齢者の状況

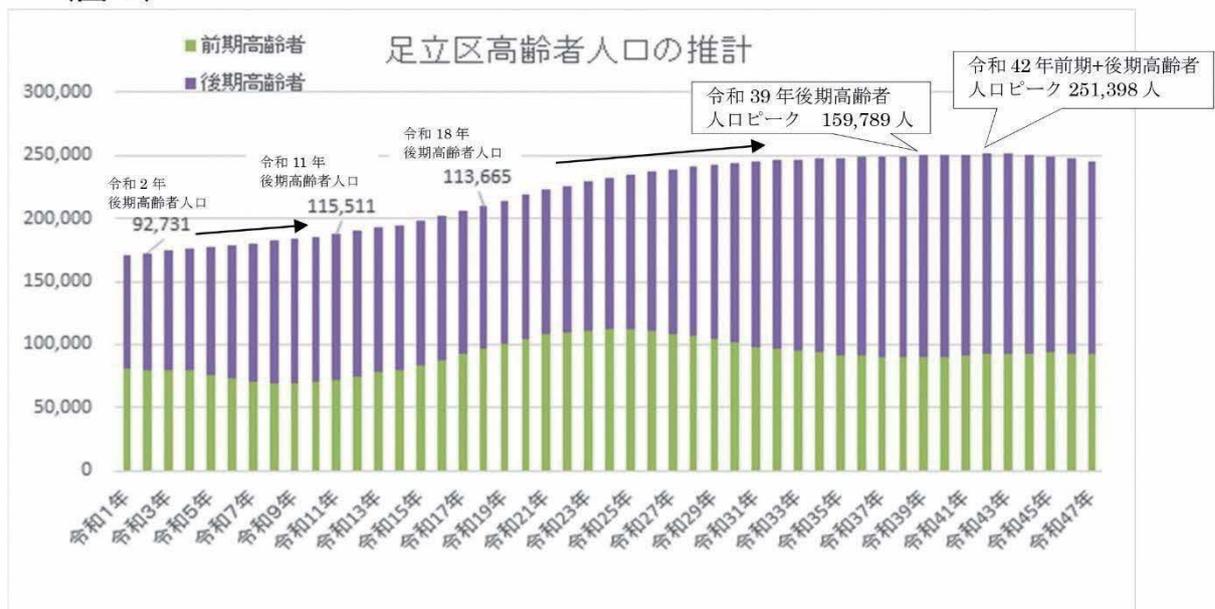
1 足立区人口推計（図3）



出典：令和2年2月足立区人口推計（中位推計）

- (1) 足立区の人口は、令和12年の710,079人をピークに減少に転じ、令和47年には624,175人まで減少すると見込まれます。
- (2) 令和12年までは人口構造に大きな変化はありませんが、総人口が減少する一方で、高齢者人口は増加を続けます。

2 高齢者の人口推計（前期高齢者（65～74歳）、（後期高齢者（75歳以上））（図4）



出典：令和2年2月足立区人口推計（5地区別・1歳級別 中位推計）

第2章 高齢者の状況

- (1) 令和2年に172,758人であった足立区の高齢者人口は、令和11年には187,190人と、14,432人、8%増加すると推計されます。その後、令和4年のピーク時には251,398人となり、令和2年と比べ78,640人、46%増加すると考えられます。
- (2) 後期高齢者人口（75歳以上）は、令和元年から令和11年まで増加を続け、その後一時減少傾向となりますが令和18年から再度増加に転じ、令和39年にピークを迎え159,789人となると推計されます。
- (3) 一方、前期高齢者人口（65歳以上75歳未満）は減少を続け、令和9年に69,490人となった後に増加に転じ、令和24年にピークを迎え112,555人となると推計されます。

3 高齢者人口の増加に伴う課題

(1) 要介護高齢者の増加

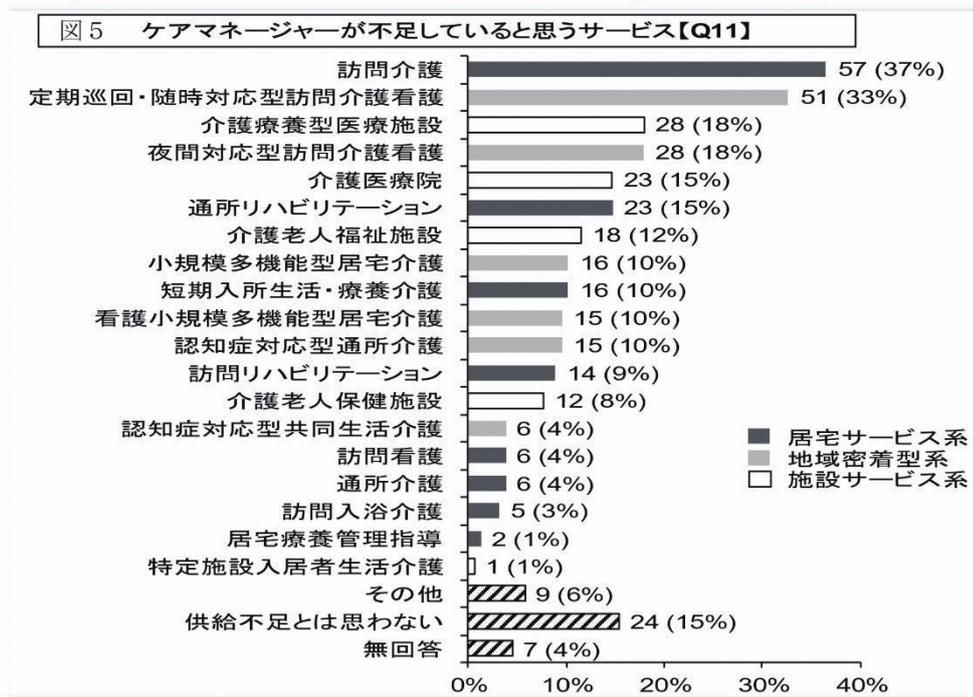
令和2年4月1日時点において、65歳以上の高齢者のうち要介護・要支援認定を受けた者の割合（以下「認定率」という。）は約21%ですが、後期高齢者に限ってみると認定率は約34%に跳ね上がります。このため後期高齢者の増加は、取りも直さず要介護高齢者の増加につながるのです。

第8期の足立区介護保険事業計画によれば、計画期間中に要介護認定者数は表2のとおり推移すると想定しています。



(2) 介護サービス事業所や介護保険施設の不足

令和元年度実施の居宅介護支援事業所実態調査(21ページ参照)の結果によると、ケアマネジャーの視点から現状不足していると思うサービスは、訪問介護が37%、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が33%と高く、介護療養型医療施設と夜間対応型訪問介護看護が18%、介護医療院と通所リハビリテーションが15%、介護老人福祉施設が12%と続いています。要介護認定者の増加が見込まれる中、必要とされるサービスを見極め充足させていく必要があります。



出典:居宅介護支援事業所実態調査 問11

(3) 介護事業に関わる人材の不足

在宅サービスの事業所対象の調査(21ページ参照)結果では、人材が確保できていないと答えた事業所は17%となっており、現状でも人材が不足している傾向がうかがえます。平成29年度の都の試算をもとに推計したところ、足立区では5年後の令和7年度(2025年度)には約1,300人の介護職員の不足が見込まれます。

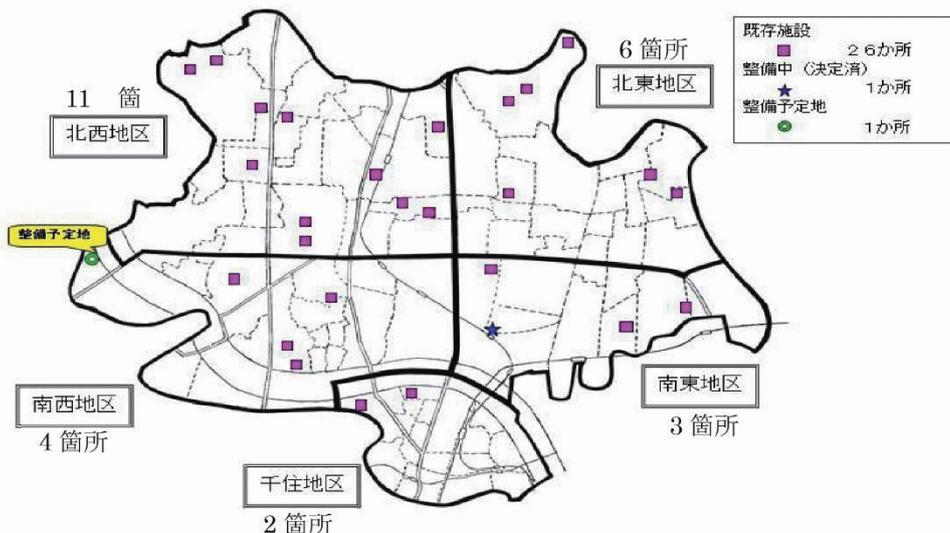
今後、高齢者人口の増加に比例して、介護保険サービスや生活支援を必要とする高齢者の増加も見込まれることから、人材の確保は必須です。

第3章 特別養護老人ホームの現状と課題

第3章 特別養護老人ホームの現状と課題

1 施設の整備状況

図6 足立区特別養護老人ホーム位置図（令和2年1月1日現在）



2 入所希望者の状況

(1) 特別養護老人ホームの入所申込希望先状況（令和2年6月1日現在）（表3）

希望者数は、第1～2希望まで記入された延べ人数。現在、各施設ともほぼ満室。

(人)

施設名（定員）	希望者数	施設名（定員）	希望者数	施設名（定員）	希望者数
足立新生苑（220）	364	イーストピア東和（147）	375	ケアホーム足立（100）	93
紫磨園（120）	259	プレミア扇（96）	96	足立万葉苑（100）	98
さの（100）	159	ハピネスあだち（150）	118	ル・ソラリオン綾瀬（多）（40）	182
扇（76）	141	はるかぜ（32）	31	ル・ソラリオン綾瀬（ユ）（120）	116
六月（50）	113	千住桜花苑（100）	186	花畑あすか苑（多）（40）	177
グレイスホーム（50）	136	竹の塚翔裕園（100）	77	花畑あすか苑（ユ）（100）	108
足立翔裕園（150）	229	ル・ソラリオン西新井（150）	125	レスパート千住（多）（30）	194
さくら（60）	120	ピオーネ西新井（100）	135	レスパート千住（ユ）（90）	145
中央本町杉の子園（60）	163	泰優の家（74）	61	ケアホーム花畑（多）（36）	184
ウエルガーデン伊興園（130）	240	古千谷苑（120）	64	ケアホーム花畑（ユ）（72）	115
				合計（延べ）	4,604

※順番は開設順